

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	ビジネスマナーⅢ（DB）		TDB203
講義名（コード）	ビジネスマナーⅢ（DB）		TDB203
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	デジタルビジネスコース	単位数	2
授業担当者	島田	時間数	30
成績評価教員	島田	講義期間	春学期
実務者教員		履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義・演習・実技

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	・社会人となるための基礎的礼儀・マナーを身につけること。知識を得るだけでなく学校生活の中で実践できるマナーを身につける。
全体の内容と概要	
授業時間外の学修	・復習課題としてレポートの提出を求めることがある。
履修上の注意事項等	・授業時間内ではマナー授業であることを理解し、相手の立場に立って考えて行動すること。・指示された時以外のスマートフォンの使用を禁じます。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件	授業時に提示した教材プリントに、ワークの成果を記述して授業終了時（あるいは次回授業時）に提出することを義務付ける。この提出の内容が成績評価の核となる。		
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	・前期授業の取組み・心がまえを理解する	・前期オリエンテーション・授業の進め方の説明（相互に教えあう授業スタイル）・他者との交流。マナーとは何か「考え方・マインド」「知識・スキル」「実践演習」ワールドカフェの説明。
2	他者理解を深める。	発表チーム編成を学生の話し合いで決める。「就活マナーとルール」「就活での電話マナー」「就活での応対マナー」「就活でのビジネス文書・電子メール」「就活での面接マナー」の5チームに分かれる。
3	就活マナーとルール①	代表者によるテーマ内容の発表。各学生からの質疑応答。
4	就活マナーとルール②	ワールドカフェ方式によりグループ分けしグループごとに「就活マナーとルール」についての対話を深める。
5	就活での電話マナー①	代表者によるテーマ内容の発表。各学生からの質疑応答。実践演習。
6	就活での電話マナー②	ワールドカフェ方式によりグループ分けしグループごとに「就活での電話マナー」についての対話を深める。
7	就活での応対マナー①	代表者によるテーマ内容の発表。各学生からの質疑応答。実践演習。
8	就活での応対マナー②	ワールドカフェ方式によりグループ分けしグループごとに「就活での電話マナー」についての対話を深める。
9	就活でのビジネス文書・電子メール①	代表者によるテーマ内容の発表。各学生からの質疑応答。
10	就活でのビジネス文書・電子メール②	ワールドカフェ方式によりグループ分けしグループごとに「就活でのビジネス文書・電子メール」についての対話を深める。
11	就活での面接マナー①	代表者によるテーマ内容の発表。各学生からの質疑応答。実践演習。
12	就活での面接マナー②	ワールドカフェ方式によりグループ分けしグループごとに「面接マナー」についての対話を深める。
13	前期振り返り	就職活動で求められるマナーや社会人になってから必要とされるマナーについて振り返る。
14	前期期末試験	・前期期末試験実施

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	「ビジネスマナー基本テキスト」（日本能率協会マネジメントセンター）
参考文献・資料等	
備考	